

上信自動車道(吾妻東バイパス2期)政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

バイパス整備事業 施策3: 防災インフラの整備(中長期レジリエンス戦略)

事業概要

- 所在地: 東吾妻町箱島~植栗
- 路線名: 国道353号
- 事業内容: 延長 約6,700m 幅員 10.5m
- 全体事業費: 約180億円
- 事業期間: 平成26年度~令和9年度(14年間)
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 重要物流道路: 該当
- 現在の交通量(H27): 11,157台/日(現道\_国道353号)
- 計画交通量(R12): 11,300~13,200台/日(バイパス)  
: 8,100台/日(現道\_国道353号)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路  
をつくります



- ・吾妻は災害で交通止めとなると陸の孤島になるため早く整備してほしい。(地元住民)
- ・国道でも渋滞している地域がある。スムーズに移動できるように整備してほしい。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
急傾斜地崩壊危険区域	5箇所	バイパス完成により回避
移動時間(渋川伊香保IC~草津)	約1時間30分	約1時間(30分短縮)

実施前

- ◆現道の国道353号は斜面崩壊の発生箇所や急傾斜地崩壊危険区域が存在し、緊急輸送道路でありながら、災害時に通行止めとなるおそれがあります。

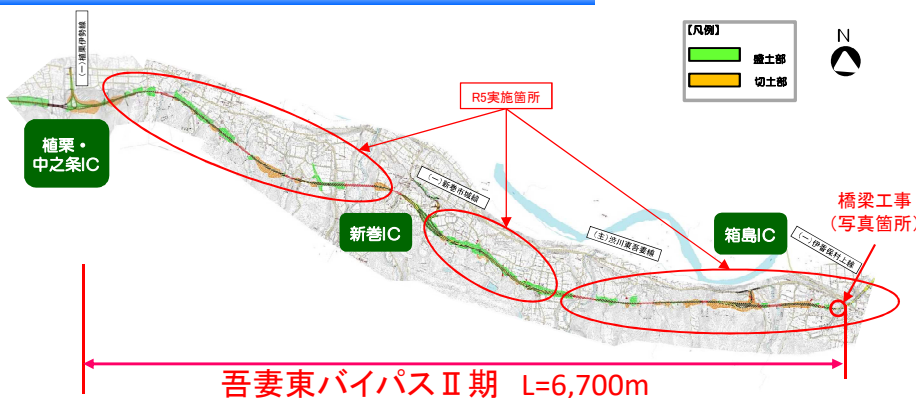


実施後

- ◆国道353号の危険箇所を回避し、災害時の代替路が確保されます。
- ◆また、高速道路に準じた構造の道路が整備されることで、速達性と定時性の高い走行が可能となり、移動時間が短縮されます。



事業の進捗状況(R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は、用地買収、埋蔵文化財調査、橋梁工事、道路改良工事を推進します。



事業のすすみ具合

